

Jp ファームウェアバージョンアップによる変更内容

Z 7II/Z 6II「活用ガイド」の内容は、ファームウェアのバージョンがC:1.40であることを前提に説明しています。この補足説明書では、C:1.50およびC:1.60の各ファームウェアバージョンアップで追加された内容および変更点について説明しています。あわせてお読みください。

ファームウェアバージョンについて

カメラのファームウェアバージョン確認およびバージョンアップは、セットアップメニュー [ファームウェアバージョン] で行えます。

カメラのファームウェアをバージョンアップするには、パソコンをお使いになる方法とスマートフォンをお使いになる方法があります。

- **パソコンをお使いの場合**：ニコンダウンロードセンターで新しいバージョンのファームウェアがあるか確認できます。バージョンアップの手順については、ファームウェアのダウンロードページをご覧ください。

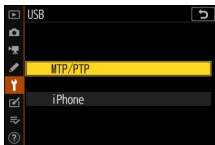
<https://downloadcenter.nikonimglib.com/>

- **スマートフォンをお使いの場合**：SnapBridgeアプリでカメラとスマートフォンをペアリング済みの場合、カメラの新しいファームウェアがあるとアプリにお知らせが表示され、スマートフォン経由でファームウェアをカメラ内のメモリーカードに転送できます。バージョンアップの手順については、SnapBridgeアプリのヘルプをご覧ください。お知らせが表示されるタイミングは、ニコンダウンロードセンターで公開されるタイミングと異なる場合があります。

ファームウェア (C: 1.50) による変更点について

セットアップメニューに [USB] 追加

セットアップメニューに [USB] が追加されました。スマートフォン用アプリ NX MobileAirアプリを使用して、カメラで撮影した画像をUSBケーブルで有線接続したiPhoneにインポートできるようになりました。



- パソコンやAndroid端末と接続する場合は [MTP/PTP] に設定してください。
- 市販のiPhone用USB-C to LightningケーブルでiPhoneと接続し、NX MobileAirアプリを使用する場合のみ [iPhone] に設定してください（使用できるUSB-C to Lightningケーブルについての詳細は、NX MobileAirアプリのヘルプをご覧ください）。
- iPhoneとの接続の有無にかかわらず、[iPhone] に設定している場合、次の機能が無効になります。これらの機能を使うには、[MTP/PTP] に設定してください。
 - カメラに内蔵されている通信機能
 - セットアップメニュー [リモコン (ML-L7) 設定]
 - USBケーブルを使用した給電とバッテリーの充電（別売の本体充電ACアダプターを使用した給電と充電もできません）
- NX MobileAirアプリはApple App Store®またはGoogle Play™でダウンロードできます。

使用できるアクセサリーにリモートグリップが追加

使用できるアクセサリーに別売のリモートグリップMC-N10が追加されました。MC-N10をカメラに接続すると、撮影や設定変更などの操作をMC-N10で行うことができます。

- MC-N10は、市販の撮影用機器に取り付けるためのロゼットを備えています。MC-N10をARRI互換のロゼットアダプターが付いている撮影用機器に固定すると、被写体の動きに合わせてパンニングしながらピントを合わせたり、カメラに触れることなく手元で露出やホワイトバランスを調整したりできます。
- MC-N10の詳しい使い方については、ニコンダウンロードセンターからダウンロードまたは閲覧できるMC-N10の説明書をご覧ください。
<https://downloadcenter.nikonimglib.com/>

ファームウェア (C: 1.60) による変更点について

モニターモード [ファインダー優先] の変更

モニターモードの [ファインダー優先] が [ファインダー優先1] と [ファインダー優先2] に変更になりました。

- [ファインダー優先1] の場合、ファインダーに顔を近づけたときだけファインダーが点灯します。ファームウェアのバージョンがC:1.60より前の場合に [ファインダー優先] を選んだ場合と同様の動作です。
- [ファインダー優先2] の場合、ファインダーに顔を近づけたときに加え、カメラの電源をONにしたとき、シャッターボタンを半押ししたとき、**AF-ON** ボタンを押したときには、ファインダーに顔を近づける前にも数秒間ファインダーが点灯します。
- セットアップメニュー [モニターモードの限定] で設定できる項目も [ファインダー優先] が [ファインダー優先1] と [ファインダー優先2] に変更されています。
- 画像モニターの角度を変更している場合に [ファインダー優先1] または [ファインダー優先2] に設定していると、アイセンサーに顔を近づけてもファインダー表示には切り替わりません。

カスタムメニュー d9 [Lvに撮影設定を反映] の [する] にフラッシュ使用時の設定が追加

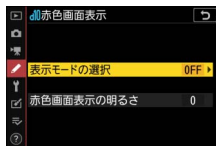
カスタムメニュー d9 [Lvに撮影設定を反映] > [する] で [フラッシュ使用時を含む] と [フラッシュ使用時を含まない] が設定できるようになりました。



項目	内容
[する]	<p>ホワイトバランスやピクチャーコントロール、露出補正などの設定を変更すると、撮影画面の表示に反映されます。[する]を選んでマルチセレクターの⓪を押すと、[フラッシュ使用時を含む] または [フラッシュ使用時を含まない] が選べます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [フラッシュ使用時を含む]：カメラにスピードライトを接続して発光が可能な状態でも色味や露出の設定を撮影画面の表示に反映します。 <ul style="list-style-type: none"> - 主要被写体の背景部分の露出を調整する場合に適しています。 - 主要被写体が撮影画面に暗く表示されることがあります。 • [フラッシュ使用時を含まない]：カメラにスピードライトを接続して発光が可能な状態になると、撮影画面の明るさは [しない] 選択時と同様になります。色味は設定を反映します。
[しない]	<ul style="list-style-type: none"> • ホワイトバランスやピクチャーコントロール、露出補正などの設定を変更しても、撮影画面の表示には反映されません。撮影画面が見やすい色味や明るさで表示され、長時間の撮影に適しています。 • 撮影画面に☼が表示されます。

カスタムメニューにd10 [赤色画面表示] が追加

カスタムメニュー d10として [赤色画面表示] が追加されました。メニュー画面や撮影画面、再生画面を明るさを抑えた赤色で表示します。星景撮影など暗所撮影時に、暗さに慣れた目でもメニューや被写体が見やすくなります。



項目	内容
[表示モードの選択]	表示モードを選べます。 <ul style="list-style-type: none">• [表示モード1]：メニュー画面や撮影画面、再生画面に表示されるものを赤色表示します。• [表示モード2]：メニュー画面を赤色表示します。撮影画面や再生画面では、被写体や撮影した画像を除いたアイコンや撮影情報が赤色表示されます。• [しない]：赤色表示しません。
[赤色画面表示の明るさ]	マルチセレクターの \odot / \ominus を押して調整できます。+にすると明るく、-にすると暗くなります。

カスタムメニューにd11 [画面枠表示] が追加

カスタムメニュー d11として [画面枠表示] が追加されました。[しない] に設定すると、ファインダーおよび画像モニターの撮影画面の周囲に表示されている白い枠が非表示になります。

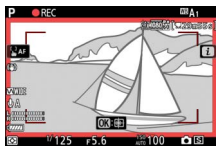
✓ カスタムメニューの番号について

カスタムメニュー d10 [赤色画面表示] とカスタムメニュー d11 [画面枠表示] の追加によって、カスタムメニュー [格子線表示]、[フォーカスピーキング]、および [連続撮影中の表示] の番号は図のように変更されました。



カスタムメニューにg7【動画撮影中の赤枠表示】が追加

カスタムメニュー g7として「動画撮影中の赤枠表示」が追加されました。「する」に設定すると、動画記録時に撮影画面の周囲に赤枠が表示されます。動画記録中であることが判別しやすく、記録ミスを防げます。



✔ カスタムメニューの番号について

カスタムメニュー g7「動画撮影中の赤枠表示」の追加によって、カスタムメニュー「MB-N11のボタンの機能」の番号はg7からg8に変更されました。

セットアップメニューに【ファインダー表示サイズ(静止画Lv)】が追加

セットアップメニューに「ファインダー表示サイズ(静止画Lv)」が追加されました。静止画モードでファインダーを見ながら撮影する場合に、ファインダーの表示倍率を「標準」または「小さめ」から選べます。「小さめ」に設定すると、全体が確認しやすくなります。

